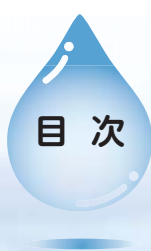


平成23年10月 低気圧による出水状況



中筋川の水位で戦後3位を記録



1. 気象観測記録
 2. 降水記録
 3. 出水記録
 4. 被害状況
 5. 水防活動
- コラム
磯ノ川川の堤防決壊



平成23年10月23日 (2011)

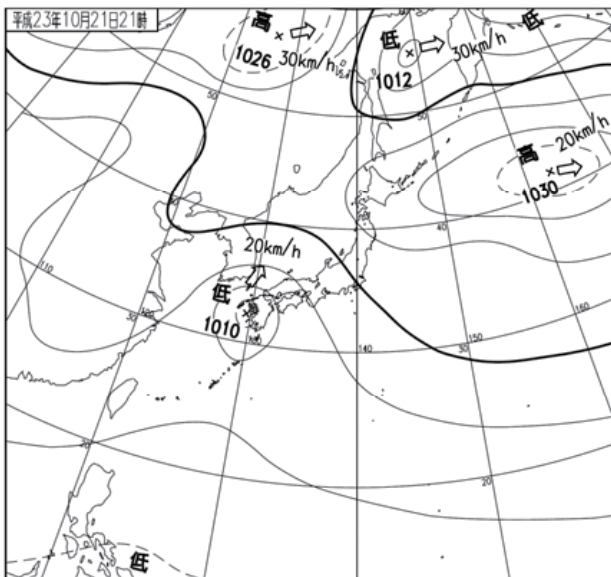
国土交通省 四国地方整備局
中村河川国道事務所

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/>

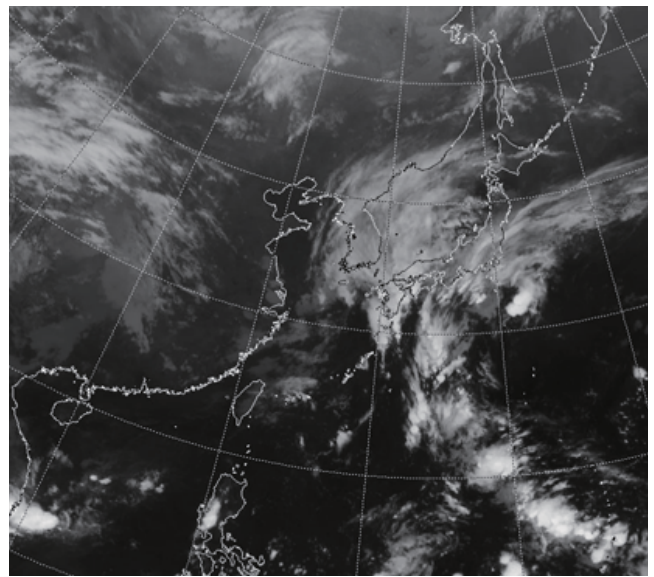
* 本資料の数値は、10月23日現在の速報及び推定値であるため、今後の調査により修正される可能性があります。

気象概要

高知県では、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となり、中筋川流域を中心に激しい降雨をもたらした。また、九州の西海上に発生した低気圧により、猛烈な雨を記録した。総雨量は山奈で348mmが記録され、最大時間雨量は21日22時に82mmを記録した。

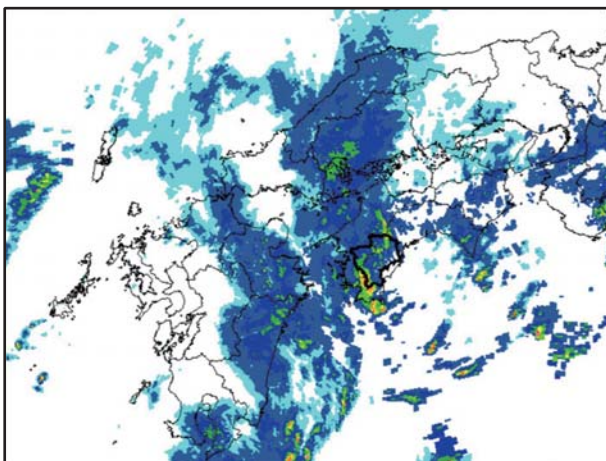


地上天気図



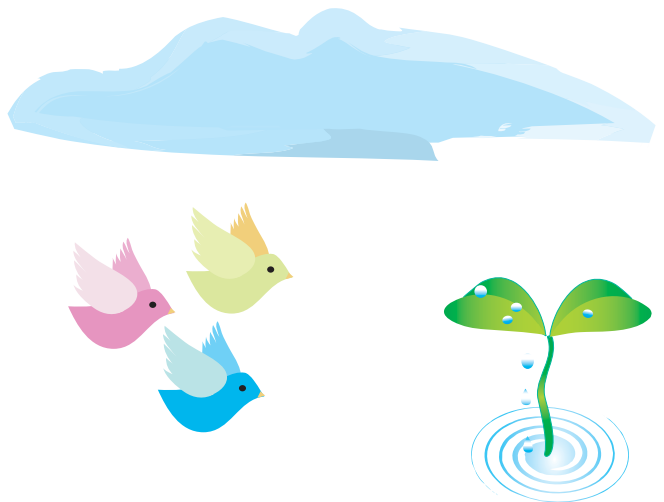
気象衛星赤外画像

上記資料は気象庁より入手



国土交通省レーダー雨量図

*暖色ほど時間雨量が強いことを表す。



(1) 降水概要

渡川水系では、中筋川流域を中心に激しい雨が降り続き、10月21日の総雨量は四万十川流域で約90mm～約200mm、後川流域で130mm～約180mm、中筋川流域で約350mmに達した。各地点の総雨量は下記の通り。

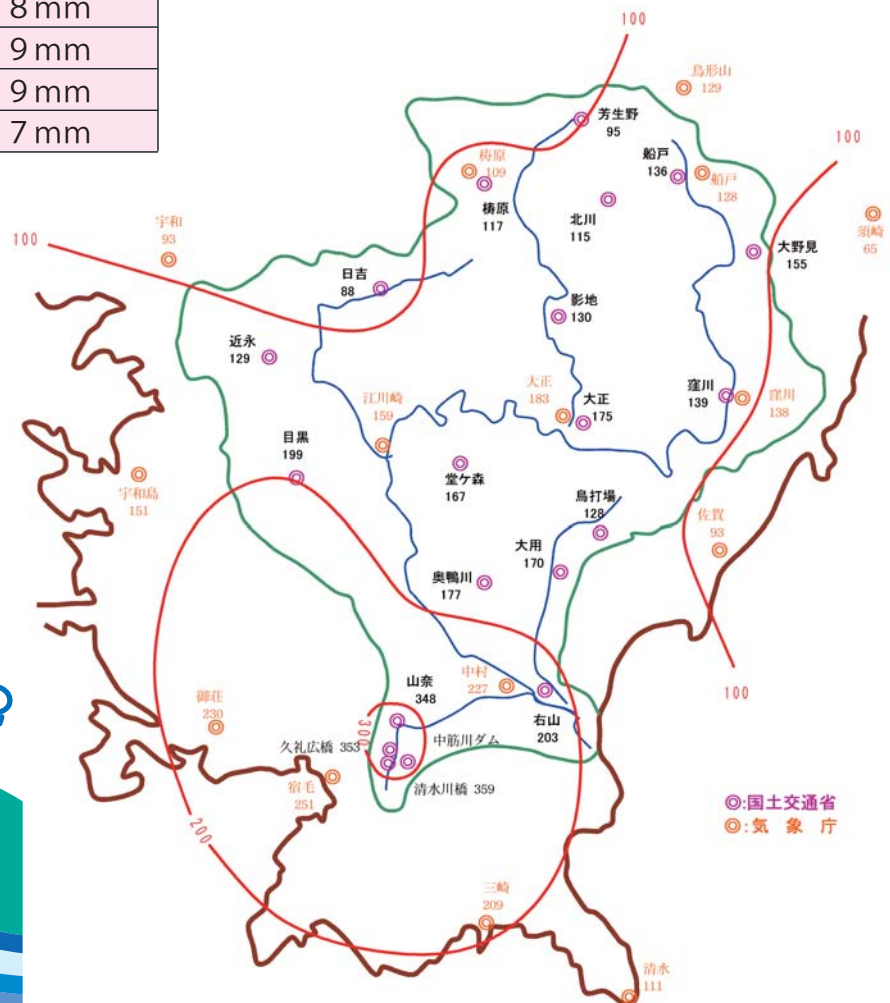
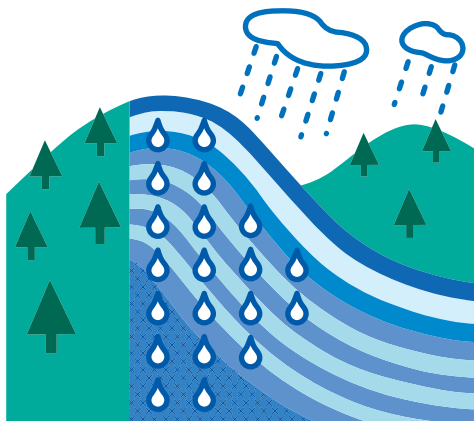
四万十川上流部	
船戸	136mm
大野見	155mm
窪川	139mm
芳生野	95mm
北川	115mm
梶原	117mm
影地	130mm
大正	175mm
日吉	88mm
近永	129mm
目黒	199mm
堂ヶ森	167mm

四万十川下流部	
右山	203mm
後川流域	
鳥打場	128mm
大用	170mm
奥鴨川	177mm
中筋川流域	
山奈	348mm

(2) 等降水量線図

低気圧による降雨

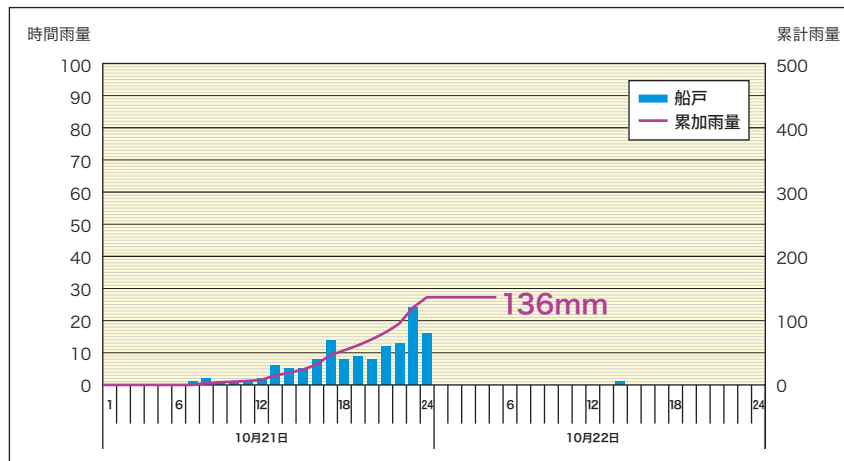
[平成23年10月21日(金)]



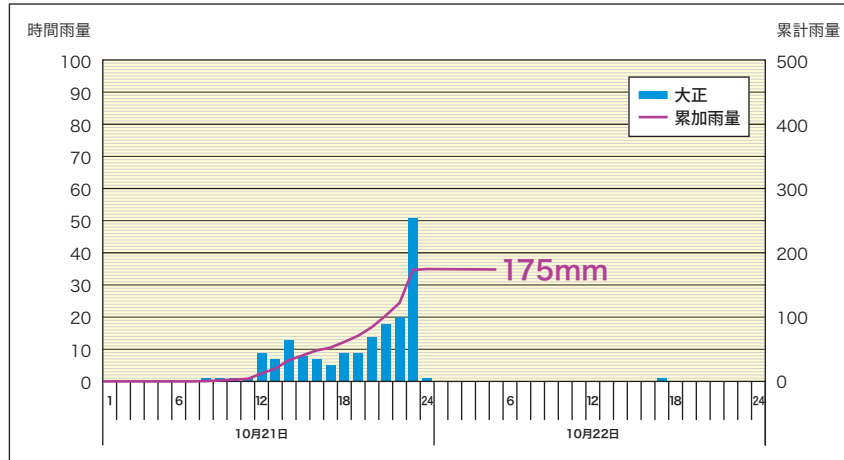
※数値は各観測所の10月21日(金)総雨量を表す。

(3) 時間降水量図

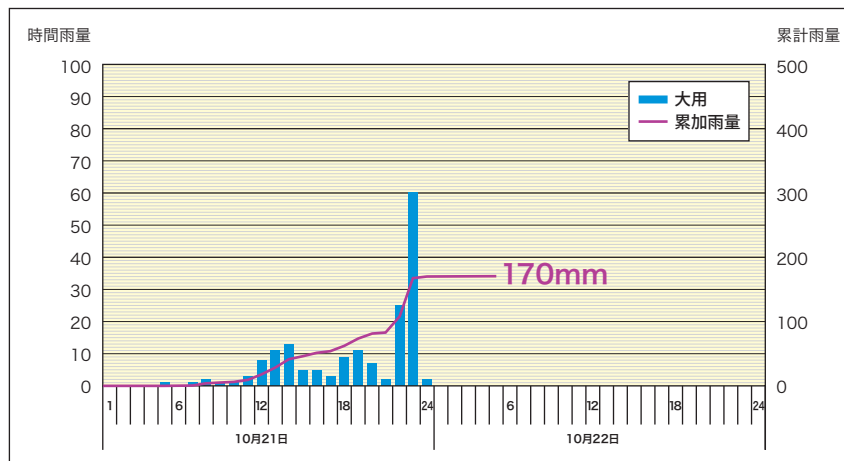
四万十川
船戸



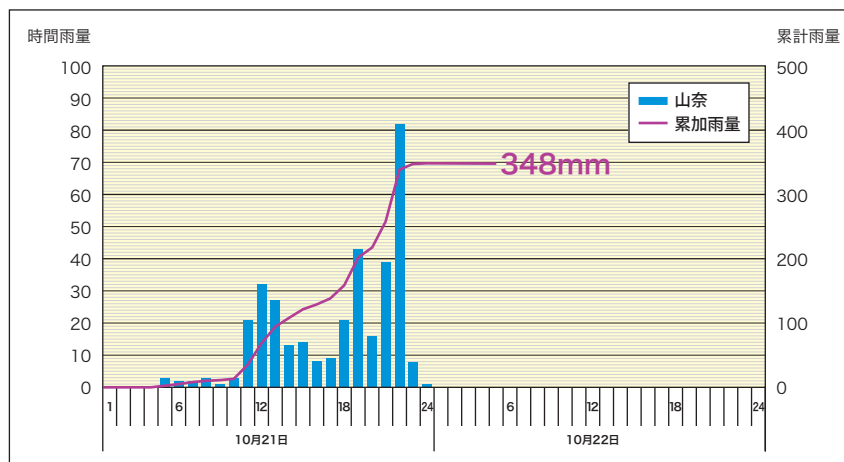
四万十川
大正



後大川
大用



中筋川
山奈



(1) 出水記録

南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となり、10月21日(金)から雨が降り始め、後川の秋田水位観測所において21日(金)23時40分に水防団待機水位(3.80m)を超過した。

また、中筋川の磯ノ川水位観測所では21日(金)13時50分に水防団待機水位(3.80m)を超過し、同日19時30分に氾濫注意水位(5.50m)を超過、同日22時10分に避難判断水位(7.40m)を超過した。

磯ノ川水位観測所の最高水位は8.22mm(同日23時30分)に達し、計画高水位(8.367m)にあと約15cmまで迫る出水となった。

水位観測所
位置図



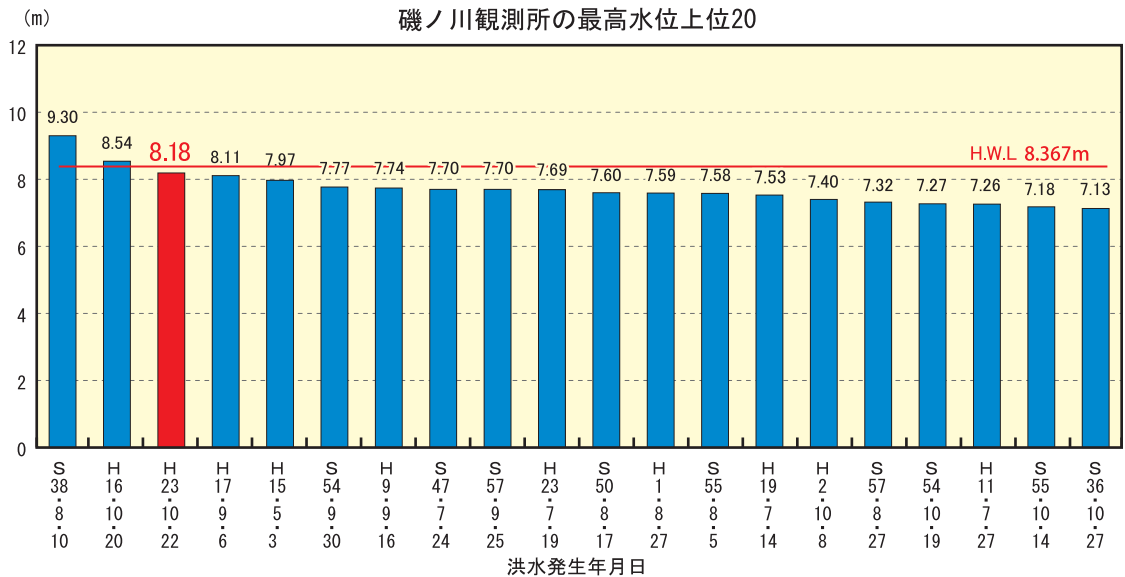
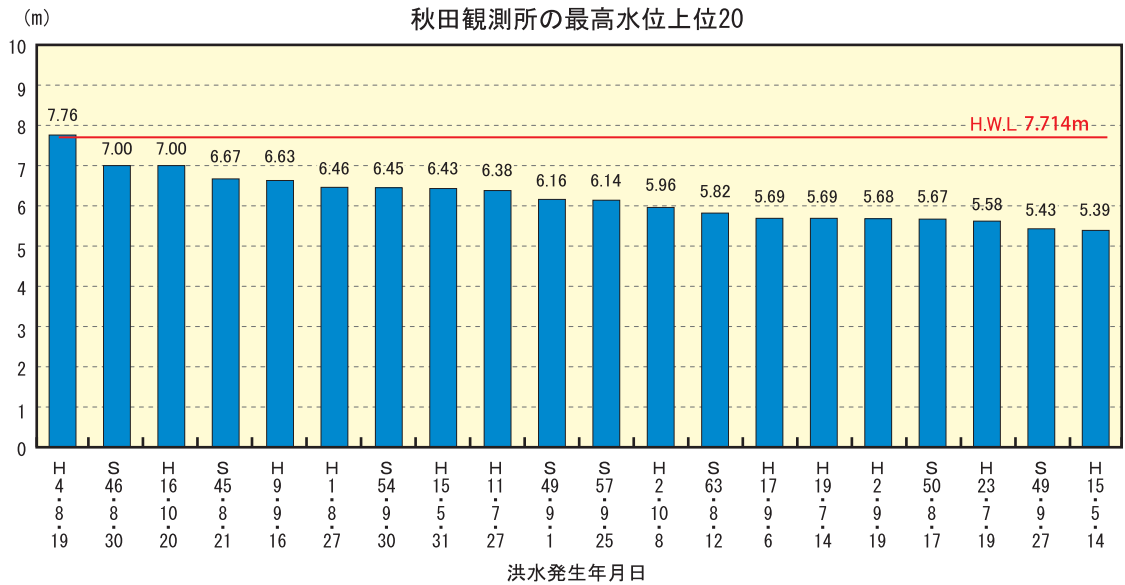
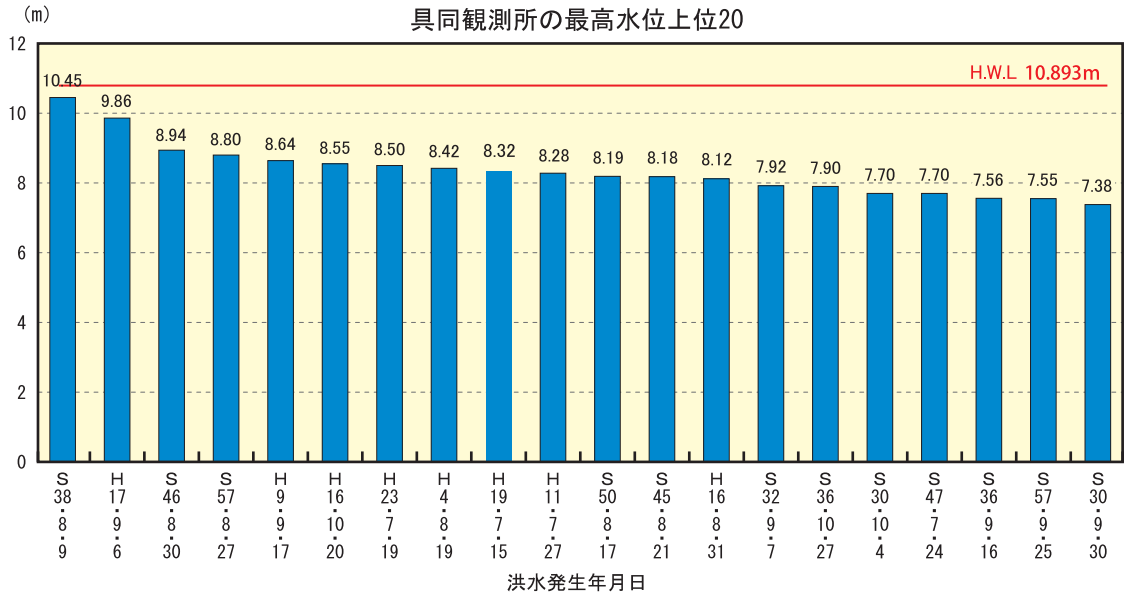
(2) 最高水位表

()は暫定

水系名	河川名	観測所名	種類	零点高 (標高)	水防団 待機 水位	氾濫 注意 水位	避難 判断 水位	氾濫 危険 水位	計画高水位	最高水位		既往最高水位		摘 要
										日 時	水位	年月日時	水位	
渡 川	四万十川	大 正	テレ	129.113	(4.50)	(6.00)	—	—	—	22日03時10分	3.98	H.16.10.20. 15時10分	10.18	
		具 同	"	1.227	5.00	6.50	7.70	8.15	10.893	22日01時30分	3.81	S.10. 8.29. 1時00分	11.34	無堤部 有堤部
	後 川	秋 田	"	4.480	3.80	5.00	6.10	—	7.714	22日01時00分	4.38	H. 4. 8.19. 20時00分	7.76	
	中筋川	磯ノ川	"	0.577	3.80	5.50	7.40	—	8.367	21日23時30分	8.22	H.16.10.20. 12時50分	8.60	

今回の出水は？

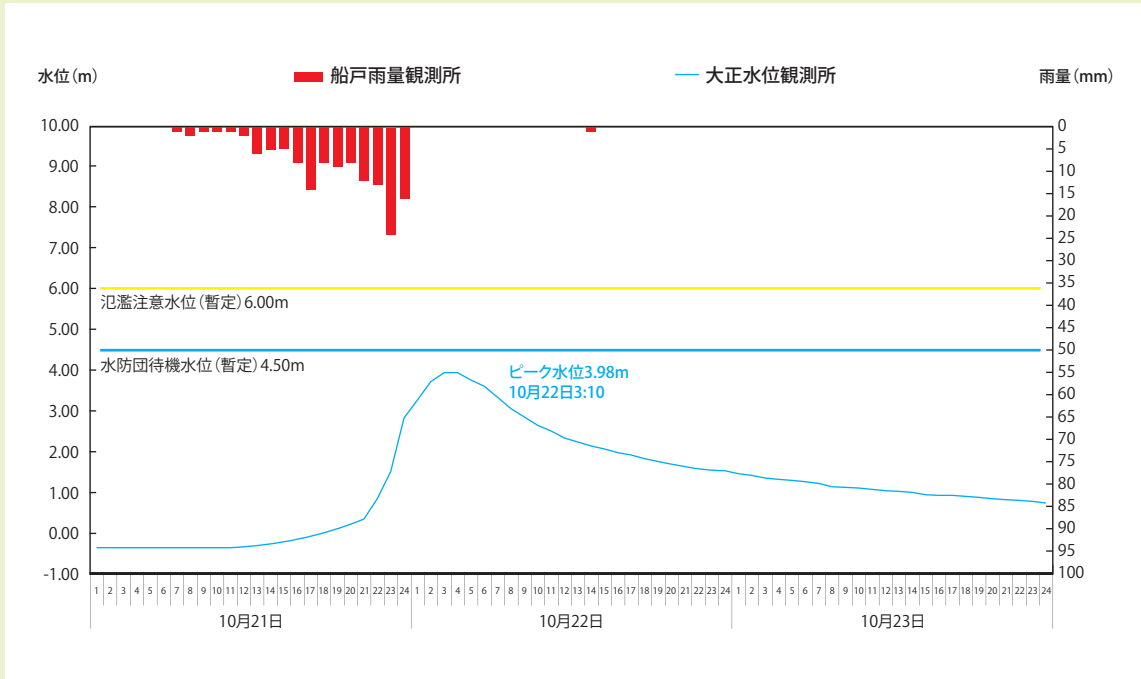
(戦後の既往洪水を毎正時水位で比較)



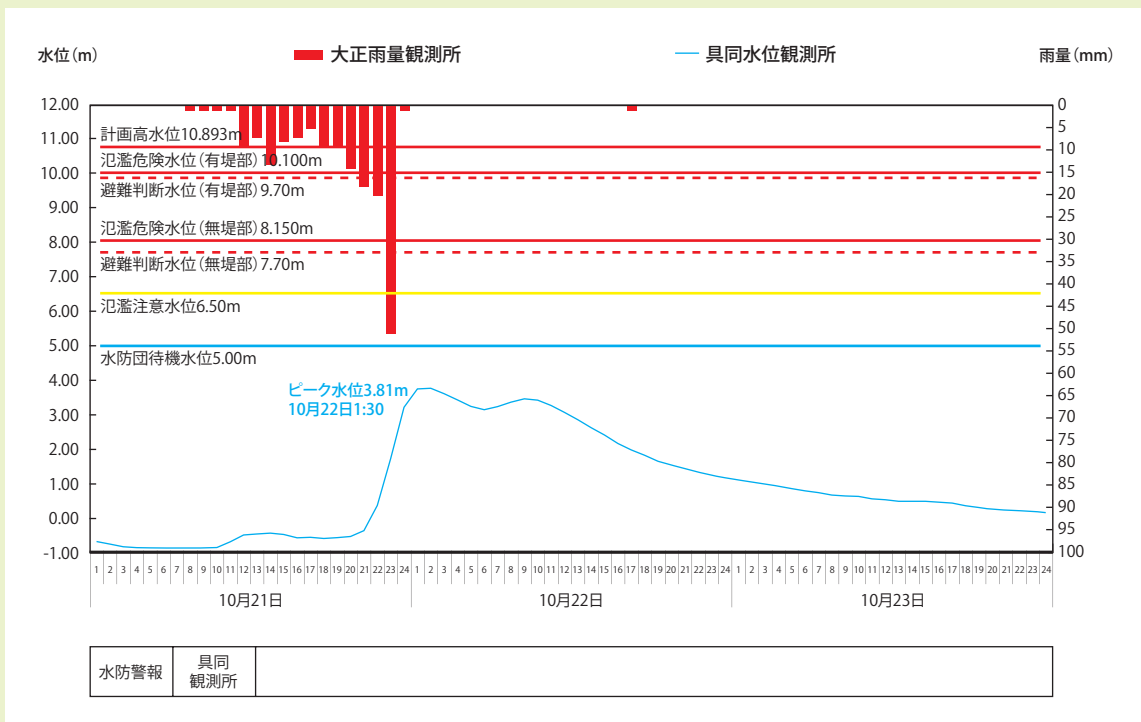
*中筋川ダムは平成11年(1999)4月より運用を開始しています。
*S38・8・10の水位は確認できた最高水位。

(3) 水位時間曲線図

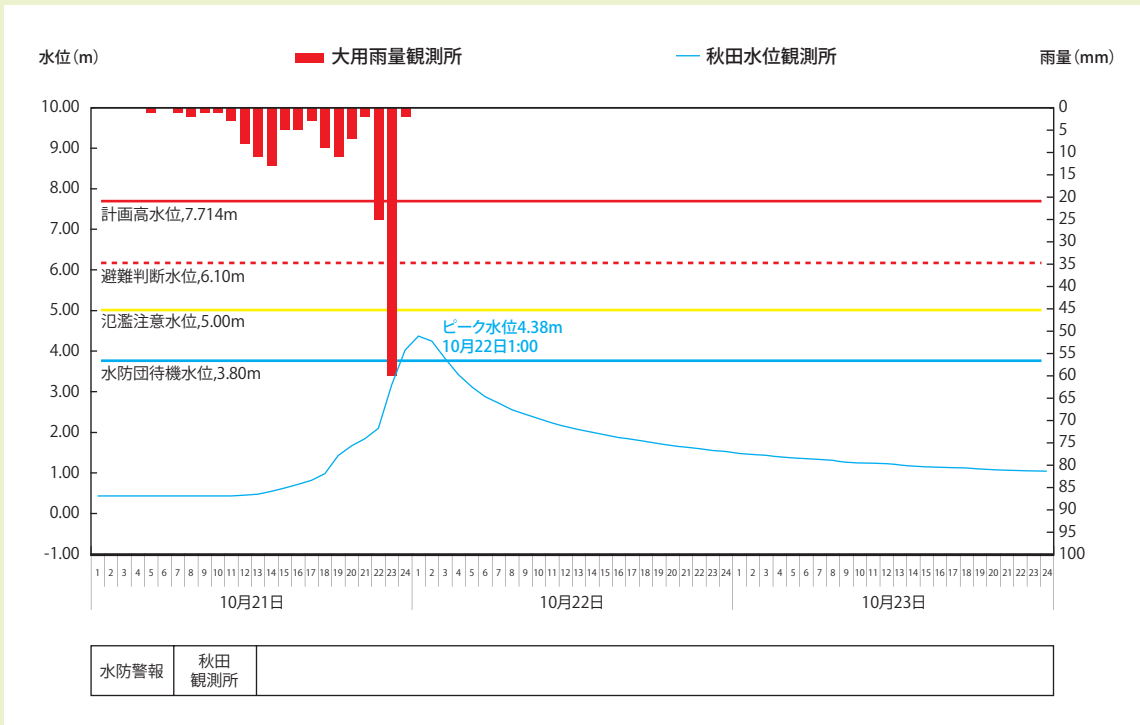
大正観測所 四万十川上流



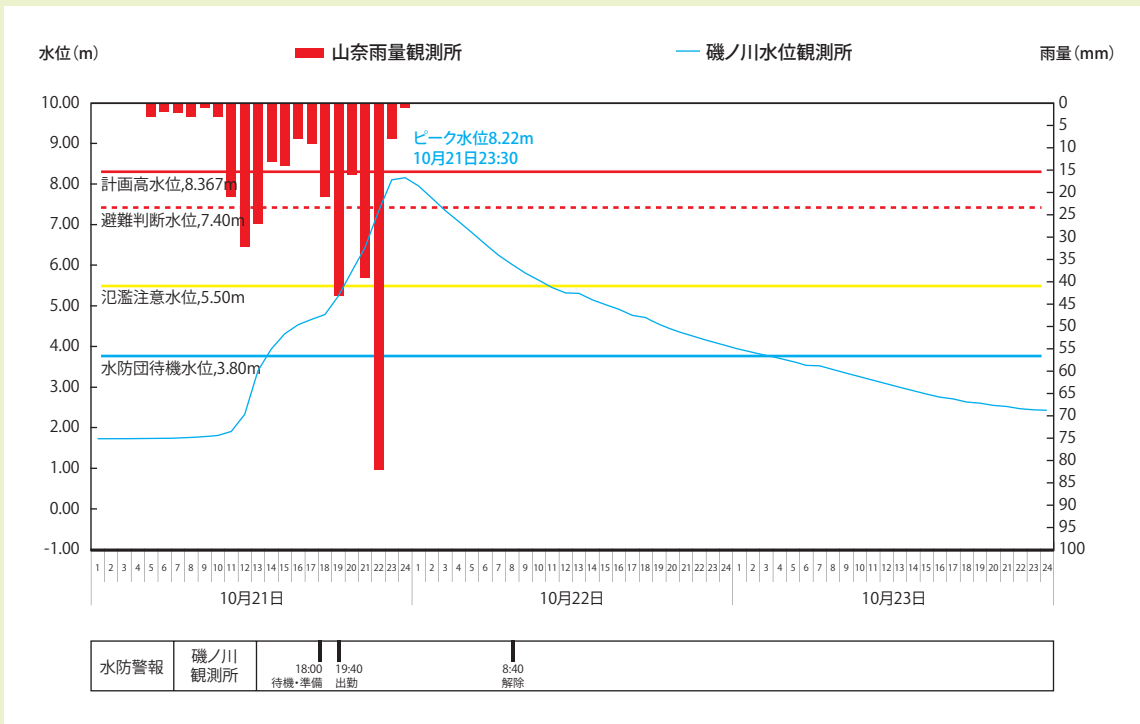
具同観測所 四万十川下流



秋田観測所 後 川



磯ノ川観測所 中 筋 川



管理施設稼働状況

中筋川、後川における水防活動状況は、次のとおり。

排水機場等稼働状況

排水機場名	位 置	ポンプ規模	稼働時間
有 岡	中筋川左岸 14k/2+100m 付近	4 (m ³ /s)*2 台	10月21日13時49分～10月22日18時50分
古 津 賀	後川左岸 0k0+100m 付近	5 (m ³ /s)*2 台	10月22日 0 時18分～10月22日 5 時29分
八 宗 田	後川左岸 3k200m 付近	5 (m ³ /s)*2 台	10月21日23時33分～10月22日 3 時55分
川 家 川	後川左岸 4k800m 付近	5 (m ³ /s)*2 台	10月21日23時14分～10月22日 5 時27分
藤	後川左岸 8k/0+100m 付近	3 (m ³ /s)*2 台	10月21日22時51分～10月22日 3 時28分



西の谷地区(内水被害)



有岡樋門(水位上昇)



向山地区(内水被害)



長尾地区(内水被害)

磯ノ川川の堤防決壊 (昭和50年8月台風5号)

降水・出水概要

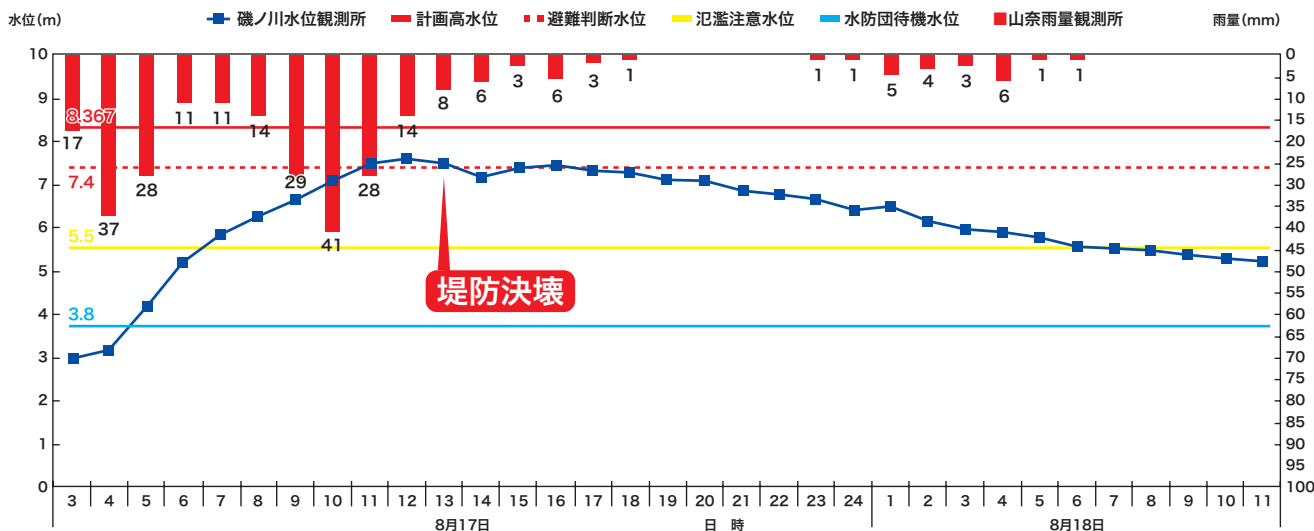
昭和50年8月16日12時頃から台風5号の影響による降雨が始まり、18日4時頃まで降り続いた。流域全般で時間雨量20mmを超える降雨が17日3時～12時の間の約7時間ほど降り続いた。

中筋川の磯ノ川水位観測所では、8月17日12時に7.60mのピーク水位を記録した。

土居大橋下流の支川磯ノ川川の右岸(本線との合流点付近)において、堤防から水があふれたことにより堤防が決壊した。水防団が出動したものの活動不可能な状況であった。



台風5号の経路図(気象庁より入手)



平成23年10月21日の低気圧による出水では、計画高水位にあと約15cmまで迫る水位を記録しました。

中筋川の堤防の高さは、1mの余裕高を確保しているものの、雨の降り方によっては堤防から水があふれ決壊する可能性もあります。

近年はゲリラ豪雨と呼ばれる予測が困難な突発的で局地的な豪雨が頻発しています。気象情報、水位情報には十分留意してください。

川の防災情報

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

全国の河川の「雨量」「水位」「河川予警報」等の情報をリアルタイムで提供することにより、近年頻発している大雨・集中豪雨による水害、水難時の迅速・的確な避難等が可能になります。

パソコンから <http://www.river.go.jp/>

携帯電話から <http://i.river.go.jp/>



水位・雨量データ公開情報

TEL0880-34-7321

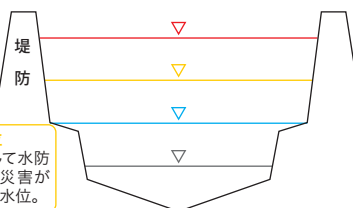
四万十川(渡川)流域の1時間ごとの水位と雨量のデータ(速報値)についてお知らせする電話サービスを行っています。

水位 ●1時間ごとの時刻水位(単位:m)

	四万十川(具同水位観測所)		後川	中筋川
	無堤部	有堤部	(秋田水位観測所)	(磯ノ川水位観測所)
水防団待機水位	5.00m		3.80m	3.80m
はん濫注意水位	6.50m		5.00m	5.50m
避難判断水位	7.70m	9.70m	6.10m	7.40m
はん濫危険水位	8.15m	10.10m	—	—
計画高水位	10.893m		7.714m	8.367m

はん濫危険水位
この水位を越えると「決壊」など重大な災害の発生する可能性が高い。

はん濫注意水位
洪水または高潮に際して水防体制を整える水位で、災害が発生する可能性が高い水位。



水防団待機水位
出水時の降雨・水位状況などの情報収集を開始する水位。

通常水位
通常水位は潮位の影響等により多少の差があります。



国土交通省 四国地方整備局

中村河川国道事務所

〒787-0015 四万十市右山 2033-14 TEL:0880-34-7301



古紙配合率100%再生紙を使用しています